

I 第16週の発生動向 (2009/4/13~2009/4/19)

1. インフルエンザについては、前週に引き続き警報および注意報はすべて解除となっていますが、県全体の届出数は増加しました。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、上十三保健所において、前週に引き続き**警報**が継続しています。

II 第16週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

		東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	
小児科 内科	(85) インフルエンザ	68	4.9	87	5.8	129	9.2	7	1.0	61	6.8	10	1.7	362	5.6	34	18	9.0	50	4.2	
小児科	(74) RSウイルス感染症			3	0.3									3	0.1	1					
	(75) 咽頭結膜熱	4	0.4	2	0.2			1	0.2			3	0.8	10	0.2	-2			4	0.5	
	(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.3	23	2.6	9	1.0	1	0.2	45	7.5	7	1.8	97	2.3	2	1	1.0	11	1.4	
	(77) 感染性胃腸炎	118	13.1	53	5.9	14	1.6	18	3.6	26	4.3	53	13.3	282	6.7	30	37	37.0	81	10.1	
	(78) 水痘	27	3.0	5	0.6	3	0.3	6	1.2	8	1.3	1	0.3	50	1.2	-2	7	7.0	20	2.5	
	(79) 手足口病	7	0.8			1	0.1					3	0.8	11	0.3	-3			7	0.9	
	(80) 伝染性紅斑	1	0.1	3	0.3					1	0.2			5	0.1	-1			1	0.1	
	(81) 突発性発疹	7	0.8	4	0.4	2	0.2	1	0.2	8	1.3	6	1.5	28	0.7	2	2	2.0	5	0.6	
	(82) 百日咳															-2					
	(83) ヘルパンギーナ			1	0.1										1	0.0	1				
(84) 流行性耳下腺炎	9	1.0					2	0.4	1	0.2			12	0.3	3			9	1.1		
眼科	(86) 急性出血性結膜炎															-2					
	(87) 流行性角結膜炎	1	0.5					1	1.0					2	0.2	2			1	0.5	
基幹	(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	11	11.0					1	1.0	13	2.2	2					

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹
東地方	2	1	0	0
青森市	12	8	2	1
弘前	15	9	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	65	42	11	6

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸1人、五所川原2人、上十三3人 (21年計：99人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

IV 病原体検出情報

・弘前地域におけるウイルス性胃腸炎患者3名のうち1名(3/27採取)からアデノウイルス1型が、2名(4/9採取, 4/10採取)の患者からアストロウイルスが検出されました。

感染症の惑

感染性胃腸炎

(五類定点把握疾患)

表1 全国における検出状況(胃腸炎)(2009年1月~4月)

統計データ：国立感染症研究所

ウイルス名	1月	2月	3月	4月
ロタウイルス	30	63	77	5
アストロウイルス	8	4	4	0
ノロウイルス	570	302	160	2
サポウイルス	14	15	9	1

表2 青森県における病原体定点からのウイルス検出状況(胃腸炎) 統計データ：環境保健センター

ウイルス名	1月	2月	3月	4月
アデノウイルス	1	-	1	-
ノロウイルス	4	1	1	-
アストロウイルス	-	-	-	2

感染性胃腸炎の病原体には、ウイルスまたは細菌、原虫などがあり、主症状は下痢、嘔吐などです。本県では、前週に比べ30人の増加で、特に東地方(前週比13人増)+青森市保健所(前週比31人増)で急増しています。本県における病原体定点からの検出状況では、全国とほぼ同様の傾向で、ウイルスが検出されています(表1,2)。散発的な発生が、集団発生につながらないように注意が必要です。予防対策としては、手洗いの励行が重要です。

V インフルエンザ情報 第16週 (4/13~4/19)

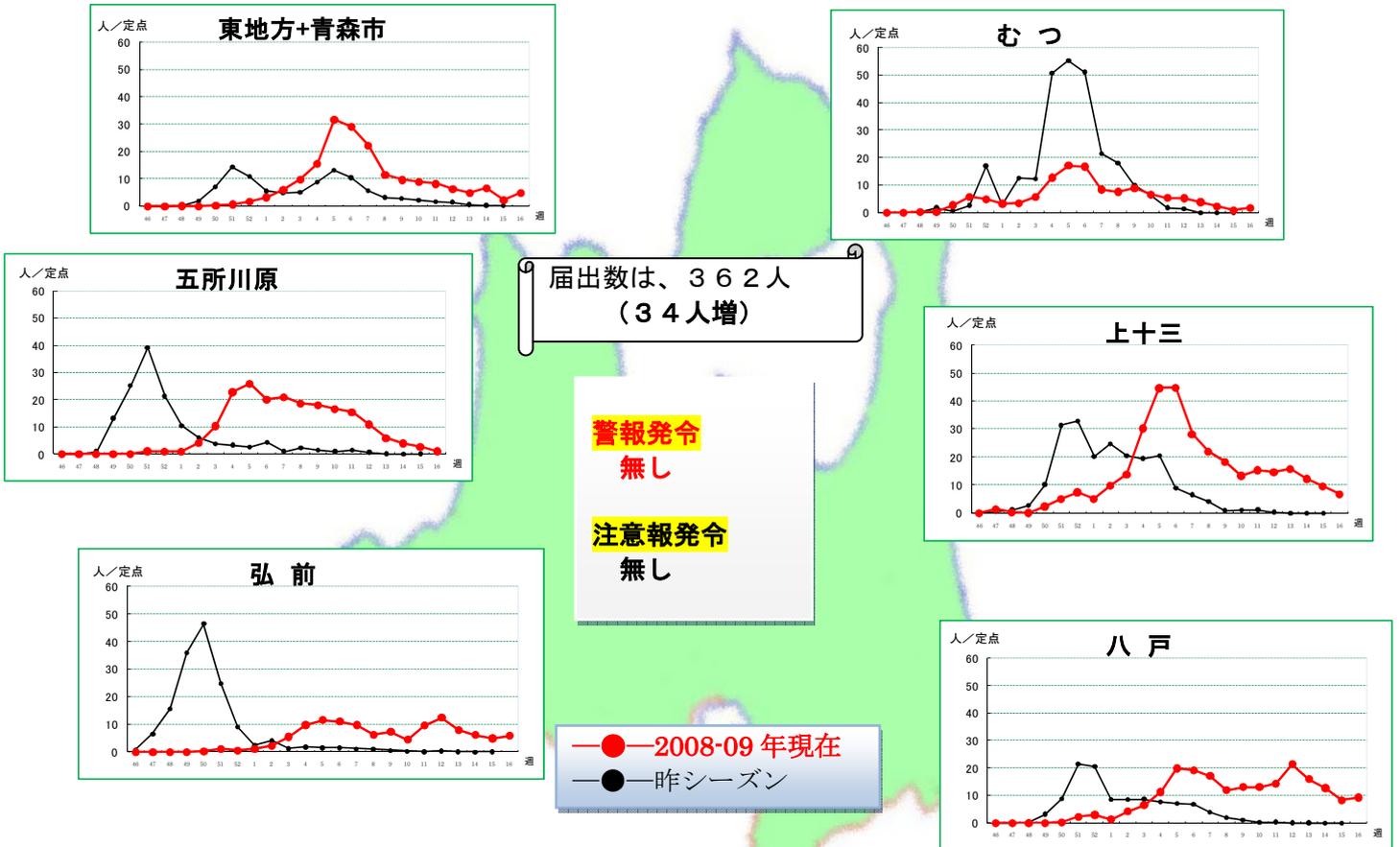
迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。

▲：前週に比べ増加

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	18▲	87▲	129▲	7	61	10▲	50▲
A型	0	13	9	0	5	3	—
B型	18	74	81	7	55	7	—

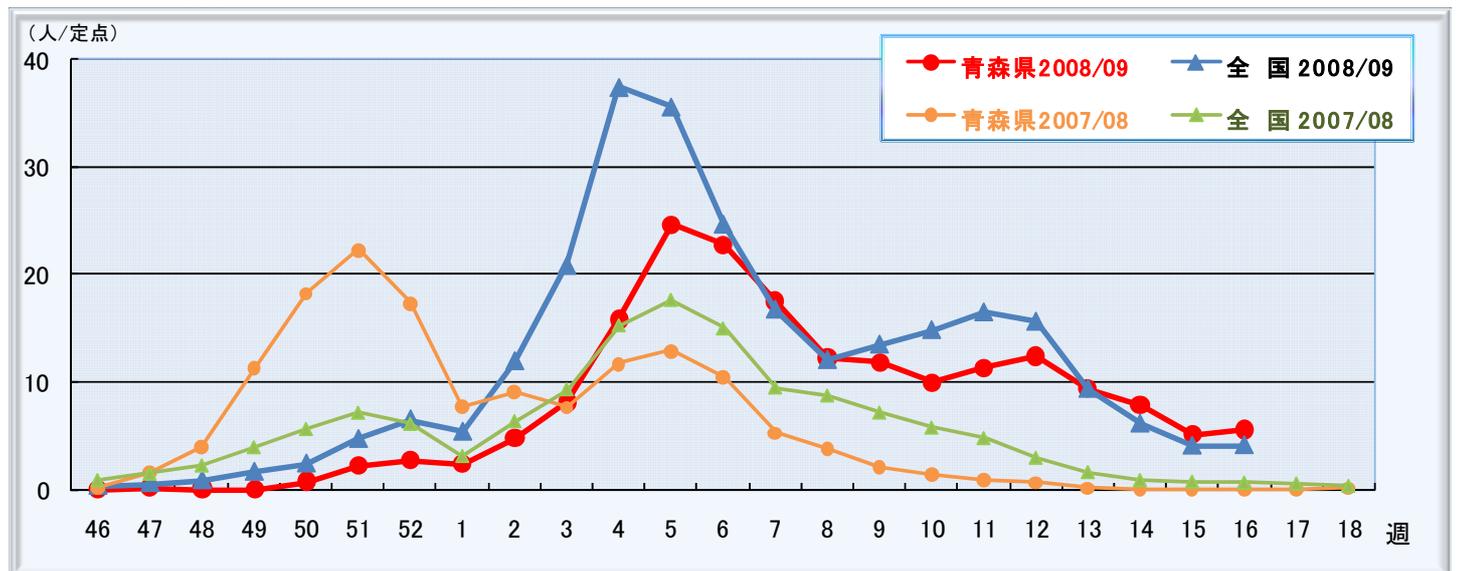
県全体の届出数は再び増加傾向に転じました。B型の検出が続いており、以前にA型に感染してもB型に感染することもありますので、今後もインフルエンザ感染予防対策を継続することが必要です。

VI保健所管内別届出数推移 * Adobe Reader は、最新のバージョンをお願いいたします。



注：警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報レベルは10人/定点です。

VII 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 今年度の標語 《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか?～》

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html